

# PHOENIX COMMUNICATION

フェニックスコミュニケーション



謹賀新年



# Yes, we can!



開設10周年のご挨拶

開設10周年 現場スタッフの声

フェニックスから羽ばたく星たち 夢とスポーツで輝く

私たちの過去・現在、そして私の未来



# 開設10周年のご挨拶



理事長 長縄 敏毅

リハビリテーション科専門医  
整形外科学会認定専門医  
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

## “10年の節目” フェニックスグループの挑戦と想い

メディカルセンター・フェニックスは、2024年11月に開設10周年を迎えることができました。この節目の年を迎えられたのは、地域の皆様、関係者の皆様のご支援とご協力のおかげです。この場を借りて心より御礼申し上げます。

振り返れば、鶴沼羽場町にあった「鶴沼中央クリニック」から現在の鶴沼各務原町へ移転し、メディカルセンター・フェニックスとして新たな一歩を踏み出してからの10年間はあっという間でした。この間、特別養護老人ホーム



当時の鶴沼中央クリニック(現DANKE)

「DANKE」、デイサービス「Com.Do DANKE」、事業所内託児所「それいゆ」、障がい者就労支援施設「VIVAローゼ」、障がい者グループホーム「ソーレ」や「ステラ」など、地域社会に必要な施設・サービスの展開を進めてまいりました。

2025年問題に対応するべく、少子高齢化が進む社会の中で、地域の皆様の暮らしに寄り添う存在であることを目指して、日々努力を重ねております。この取り組みは、多くの方々の支えと協力の賜物です。しかし、2025年という目標年を迎えるからといって、ここで終わりではありません。私達は今後のさらなる課題、例えば「2040年問題」に向けて、引き続き挑戦していく覚悟です。

## 2040年問題とは？

「2040年問題」とは、少子高齢化や人口減少を背景に、2040年を境に日本が直面する深刻な社会課題を指します。高齢者が全人口の35%以上を占め、働き手が減少する中で、年金や医療などの社会保障費が増大し、財政を圧迫する懸念があります。また、地方の過疎化や行政サービスの維持困難、経済規模の縮小も予想されています。

2040年には日本の高齢化がピークに達し、全人口の35%以上が高齢者となり、さらに人手不足の問題が深刻化すると予測されています。こうした課題に対応するため、私達は人材の確保、業務改善、そしてスタッフが安心して働ける環境づくりに注力していきます。また、若者や高齢者が共に活躍できる職場環境を推進し、奨学金制度の拡充をはじめとする支援も行っております。

さらに、AI技術やロボット技術の導入、医療・介護の記録や会計の省人化など、生産性の向上を目指した設備投資も積極的に進めています。これらの取り組みは、スタッフ、ご利用者様、そして地域の皆様が安心して生活できる社会をつくるための重要な一歩だと考えています。

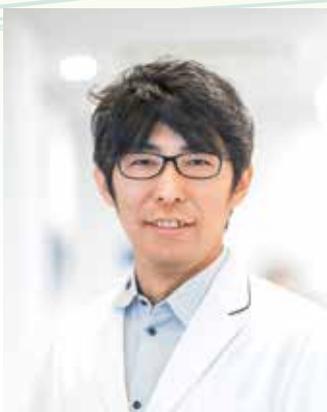
メディカルセンター・フェニックスのスローガン「生産性向上させ、物価高・人手不足から皆の生活を守り、地域共生社会起動へ!」のもと、これからも「脱皮と成長」を続け、「何十年先も安心して暮らせる社会」の実現に向けて、努力を惜しまず取り組んでまいります。

10周年という節目を迎え、これまでの歩みに感謝しつつ、さらに未来を見据えて邁進してまいります。どうぞこれからも、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 「今年のひと言」

2040年に向けて  
再出発!

# 開設10周年のご挨拶



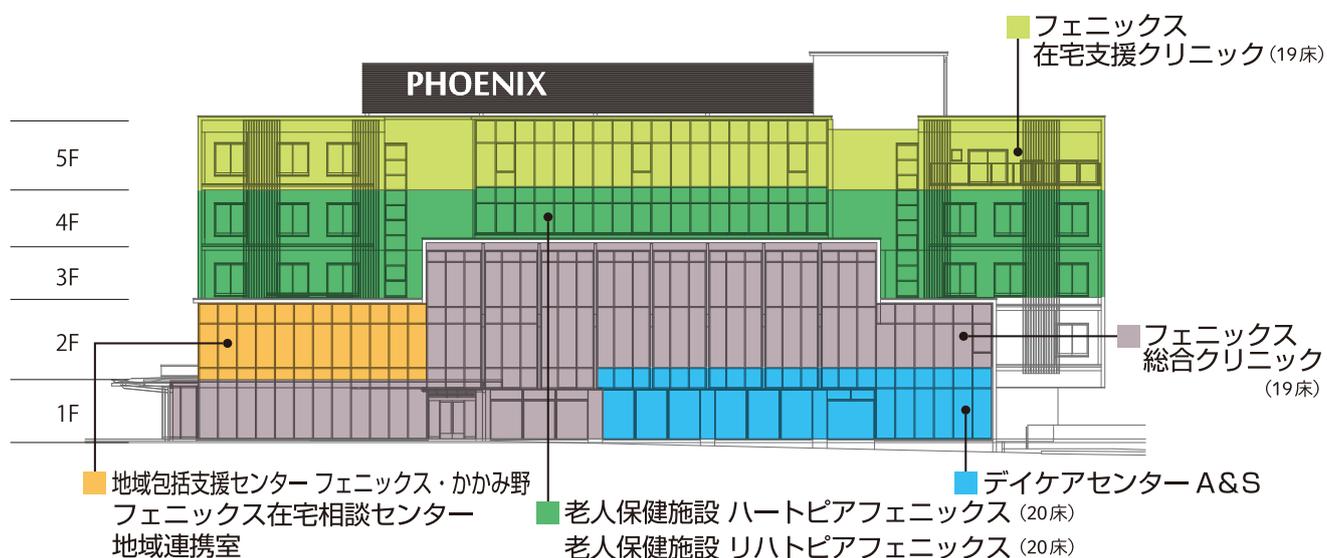
副理事長 長縄 康浩

外科専門医／消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医／胃腸科専門医

## “地域と共に歩む”これまでとこれから

フェニックスグループは、地域の方々と一緒に、より良い地域をつくるための取り組みをしています。

思えば、約36年前に地域のかかりつけ医院として「鵜沼中央クリニック」が開業し、地域の方々に支えられながら共に歩んできました。より地域に根ざした医療を目指し、訪問診療を開始いたしました。社会の変化とともに病気を治療する医療だけではなく、生活の場へと視点は広がり、2000年には介護保険制度がスタートし、老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホーム、ケアハウス、デイケアやデイサービス、地域包括支援センターなどを開設、地域の方々の生活により近い場面で関わらせていただけることができるようになりました。その中で、地域で生活し続けることの意味や様々な課題があることを学ばせていただき、「**住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる地域包括ケアシステム**」の構築を目指し全力で取り組んでまいりました。



19床の小さな有床診療所の開業から始めて26年、私達は生活を支える介護の重要性を認識しながら歩みを進めてまいりましたが、地域の安心した生活や介護現場の裏には、医療のバックアップが重要であることを再認識し、より充実した医療体制を整備したメディカルセンター・フェニックスを2014年に開設するに至りました。2つの有床診療所と2つの老人保健施設・デイケア・相談センター・地域包括支援センターを集約した同施設により、医療の充実だけでなく、医療と介護・生活の場との連携がスムーズとなり、地域の方々により安心してご利用いただけるようになったと思います。

本年でメディカルセンター・フェニックス開設から10周年を迎えますが、各務原市も少子高齢化は進み、人口減少というフェーズに突入しました。この先、様々な社会的資源が限られてくる中で、この地域で安心した生活をこれからも続けて行くためには、地域のみんが顔の見える関係を築き、お互い協力し合う必要があります。この地域に住む一人ひとりが、居場所と役割を持つことが必要です。

私達フェニックスグループも医療・介護の分野にとどまらず、障がい福祉、そして更により包括的な地域活動へと取り組む必要があると考えています。2019年には障がい福祉の事業所（就労移行支援・就労継続支援B型）をスタート、2023年には障がい者グループホームを開設いたしました。その他にも、生活習慣改善や疾病予防、地域コミュニティーを促進するGOZAREプロジェクト、農福連携、家庭残菜からつくった堆肥でつながるコマイルプロジェクト、健康寿命延伸やフレイル予防など……。現在様々な取り組みが進行中です。そのどれもが決して簡単にできることではありませんが、私達の頭の中、胸の中には次の時代に向けての思いがあります。そして、その思いは私達と伴走していただける地域の方々と共にあります。皆様と住む地域だから、皆様と一緒に地域のことを考えませんか？皆様の思いと私達の胸の中にある思いを一緒に共有できたら嬉しいと思います。皆様と地域のこれからについてお話できることを楽しみにしています。

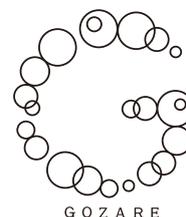


2023年開設 障がい者グループホーム ソーレ(左)・ステラ(右)



GOZAREプロジェクト (地域共生社会のイメージ)

となりにつなく、となりにつなく。  
コマイル プロジェクト  
Commile Project



GOZARE



# 開設10周年のご挨拶



フェニックス在宅支援クリニック

副院長 **奥村 諭**

循環器内科専門医

不整脈専門医

総合内科専門医

## 地域包括ケアで築く未来への10年

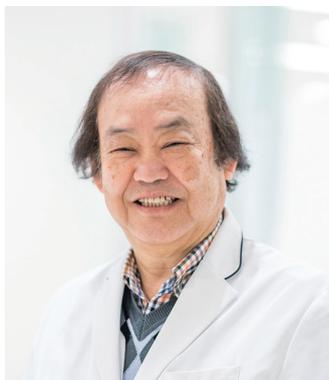
2014年11月に鶴沼中央クリニックから現在のフェニックス総合クリニックに移り、地域の皆様に支えられて早10年が経過いたしました。私は2023年からグループの一員として、共に進んでまいりました。

この10年でますます少子高齢化となり、内閣府の資料では、2025年には、国民の約3人に1人が65歳以上、約5人に1人が75歳以上となる計算となります。このままだと、老後を楽しく過ごすというプランではなく、生涯現役で働き、生活する必要がでてくるかもしれません。それはさておき、現在、平均寿命と健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の差は約10年あります。この健康寿命を少しでも延ばすことが、老後をいかに楽しめるかに繋がります。そのためには、病気にならない事、ADLを低下させない事が必要であり、環境づくりや疾病予防、介護予防が重要と考えています。

我々は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体となって提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、これから先の10年を見据え、さらなる精進をしていきたい所存です。

微力ではありますが、少しでも皆様のお力添えができるよう共に歩みます。お困りの事がありましたら、いつでも気軽にお声をかけてください。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



フェニックス総合クリニック

医師 **兼城 賢明**

日本内科学会認定医

消化器内視鏡専門医

日本医師会認定産業医

## 変わらぬ想いと共に歩む10年

当初を振り返りますと、私は地域の皆様との深い交流を通じ、多くの患者様に支えられながら診療を続けてまいりました。当時は往診や外来診療を軸に、地域の医療ニーズに応える形で内科や内視鏡診療を行い、鶴沼地区を中心に活動しておりました。現在では高齢化が進む中、須恵方面を中心に、高齢者医療の充実に力を注いでおります。

これからも「年齢や状況に関わらず、患者様の最期まで向き合う」という姿勢を大切に、地域に欠かせない医療施設として、真摯で誠実な診療を続けてまいります。

職員一同、これまで以上に力を合わせ、皆様にとって「頼れる存在」となれるよう、日々研鑽を重ねてまいりますので、今後ともご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



フェニックスグループ

会長 **長縄 伸幸**

## 77才の喜寿を迎え、新たな日常を楽しむ

～10歳を迎えた孫（メディカルセンター・フェニックス）を見守りつつ～

私達は終戦間もなく生まれたベビーブーマーとして懸命に時代を生き抜き、日本復興に貢献してきたと自負していましたが、還暦を過ぎたころから、後輩にとってヒール（悪役）の集団であったとの本音を聞かされ、メガトン級の落胆と猛省を強いられました。私は、76才を迎えるにあたり、診療は午前で週4回に縮小させてもらい、新たな人生の再挑戦を決意しました。男性の平均健康寿命である72才はすでに超え、平均寿命の82才は目前である自分に今何ができるのか！を。

考え方と行動パターンを変えると幸福になると、リュボミアスキー博士は指摘されています。①感謝②利他行為③楽観・ポジティブ思考④今を生き切る⑤運動習慣などです。

2024/11/14・15の全国老人保健施設大会in岐阜の開催会長の大役を終え、今後は互いに残された人生を夫婦で満喫したいと思っています。

追記：悪役の団塊世代にもエールが！

かつてこんなにも疎まれながら、たくましく生きてきた世代があっただろうか。団塊は、他の世代にとって永遠のヒール（悪役）だ。彼らは年を重ねてなお、他人におもねることはしない。いまだに野心でギラギラしながら、高齢化という時代の主役を張っている。団塊よ、どうか死ぬまで突っばって生き切ってくれ。他の世代を挑発し続けてくれ。表舞台から去るのはまだ早い。"ナースコールの前にカーテンコール"だ。あなたたちの生き様に嫉妬をこめて、盛大な拍手を送らせてほしい

(2023/1/5、日本経済新聞より)

## 地域と共に、10年の感謝



フェニックス総合クリニック

医師 **奥村 有紀**

総合内科  
耳鼻咽喉科  
頭頸部外科

思い返してみますと、私が4歳の時に父（会長）の故郷である各務原に家族で引っ越し、鷺沼中央クリニックが開院いたしました。当時の私は幼稚園の年中で、スタッフの方や患者様に見送られながら幼稚園バスで登園しておりました。そんな頃から今日に至るまで、多くのスタッフや地域の方々に支えていただき、このたびメディカルセンター・フェニックスが10周年という節目を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

今、こうして開院当時のスタッフと共に仕事ができること、また、昔の私と同じように娘が幼稚園バスで登園していること、そして何より地域の一員としてお役に立てていることに、大変不思議なご縁を感じております。

これからも末永く地域や社会に貢献できるよう精進してまいりますので、どうぞお気軽にご相談いただければ幸いです。

# 開設10周年 現場スタッフの声

## クリニック受付

医療事務 小原 あゆみ

フェニックス総合クリニックの受付は、来院される患者様・メディカルセンターへ来られる方々の最初に関わることのできる大事な役目だと思い日々対応を心掛けています。これからも、患者様に安心感と信頼を抱いていただける受付を目指してまいります。「ここに来るとホッとする」と思っていただけのような温かい雰囲気を作り、患者様の健康の第一歩をサポートし続けていきます。



## クリニック病棟

看護師 柴田 千春

総合クリニックおよび在宅支援クリニックでは、急性期病院からご紹介いただいた入院患者様や外来患者様、さらには法人内施設からの入院患者様に対し、「社会的存在感の再獲得」を目指して取り組んでいます。今後も、患者様やご家族様、地域社会との信頼関係をさらに深め、多職種がそれぞれの専門性を活かして協力し合いながら、「医療」と「地域社会」を結びつける架け橋となれるよう努めてまいります。



## リハビリセンター

理学療法士 永塚 雄基

リハビリは患者様の生活を軸に、生活背景や趣味を考慮して身体機能を評価し、個別プログラムを提供します。退院後も安全に在宅生活が送れるよう、多職種と連携して調整を行います。これからも質の高いリハビリテーションサービスを提供するため新しい技術や知識を取り入れ、地域社会と連携しながら、質の高いサービスで患者様と共により良い未来を目指します。



## 東洋医学

鍼灸マッサージ師 丹羽 義高

消炎療法の指示箋に従い、電療やマッサージを実施しています。先日、鶴沼中央クリニック以来の患者様が来院され、「昔と変わらない、懐かしい人たちがいて安心するわ」とおっしゃいました。私を含め、6名が20年以上勤務しており、改めてその長さが患者様に安心感を与えているのだと感じています。長く勤めていることが「安心感につながる」と気付かされる今日この頃です。



## デイケアセンターA

介護福祉士 廣瀬 鮎美

デイケアセンターAの相談員として、ご利用者様が楽しく充実した毎日を過ごせるように日々新たな挑戦に取り組んでいます。次の10年に向けて、ご利用者様の笑顔を何よりの励みに、心温まるサービスを提供し続けてまいります。地域とともに成長し、安心感と活気にあふれたデイケアセンターを目指して、これからもスタッフ一同力を合わせてまいります。皆様の日常に、たくさんの幸せを届けられる存在でありたいと思います。



## 食事サービス課

管理栄養士 長屋 佐和子

フェニックスグループで献立作成を担当しています。ご利用者様に笑顔で元気になっていただき「美味しい」と感じていただけるよう、日々工夫を重ねています。これからの挑戦として、地域の食材や旬の素材を活かした献立作りをさらに強化し、栄養バランスや食べやすさにも配慮したメニュー開発に取り組んでまいります。新しい挑戦を楽しみながら、笑顔が広がる食卓を作り続けます。



# GOZAREコミュニティテラス

「つながる街GOZARE」プロジェクトの新たな拠点として、誰もが安心してつながり合える地域共生の場「GOZAREコミュニティテラス」が2026年にオープン(予定)します。詳細は随時お知らせしますので、ご期待ください!



2026年OPEN!!(予定)

コミュニティテラス  
ラフイメージ

2024年11月

障がい者グループホーム ステラ 開設



2024

開設10周年

2022年4月

小規模保育園テテット 開設



2024年1月

障がい者グループホーム  
ソーレ 開設

2019年12月

就労移行支援事業所VIVAローゼ 開設

2020年5月

就労継続支援B型事業所  
VIVAローゼ 開設

2016年8月

事業所内託児所それいゆ 開設

2017年2月

デイサービスCom.Do  
パークサイドテラス 開設

2016年4月

デイサービスCom.Do33 開設



2015年2月

地域密着型特別養護  
老人ホームDANKE 開設

2015年11月

コミュニティプラザ PHOENIX DANKE 開設

- ・デイサービスCom.DoDANKE 開設
- ・デイサービスセンターすずらん 須衛町より移設
- ・ショートステイDANKE
- ・地域交流広場DANKE



2014

11月

## メディカルセンター・フェニックス開設

- ・フェニックス総合クリニック 鶴沼中央クリニックより移転
- ・フェニックス在宅支援クリニック ・フェニックスデイケアセンターA&S ・フェニックス在宅相談センター
- ・老人保健施設リハトピアフェニックス ・老人保健施設ハートピアフェニックス
- ・地域包括支援センターフェニックス・かかみ野 プラザ&メゾンより移設



11/27

# 5年ぶりの再開! 芋煮会で盛り上がるサンバレー



サンバレーでは、5年ぶりに芋煮会が開催されました。農協JAの女性部の皆様のご協力をいただき、芋煮作りが行われました。大鍋で煮込んでいる間、参加者を楽しませるために大正琴やハンドベルの演奏会、お野菜クイズなどが行われ、会場は笑顔と拍手に包まれました。演奏では、美しい音色に聞き入る参加者の姿が見られ、クイズでは意外な野菜の知識に驚きの声が上がりました。出来上がった芋煮は、地元各務原で採れた新鮮な具材のうま味がたっぷりと溶け込んだ絶品の仕上がりで、参加者全員が地元の味を堪能しました。



大鍋で煮込まれる芋煮



ハンドベル



お野菜クイズ



拍手するサンバレーご利用者

## 介護予防デイサービス Com.Do2 小規模多機能サービス らぽら・ぽら

### 新年に向けて! ミニ門松づくり



12月10日、手のひらサイズのミニ門松づくりイベントを開催しました。地域のボランティアの方をお招きし、ご利用者さんと一緒に、新年を迎える準備として可愛らしいミニ門松づくりに挑戦しました。

最初は、小さな竹や装飾をどのように配置すれば良いか戸惑う様子も見られましたが、ボランティアの方々の丁寧なアドバイスのおかげで、次第に個性豊かなミニ門松が完成していく様子に、参加者の方々の笑顔がはじけました。「こんなに小さなものでも、ちゃんと門松に見えるね!」など達成感に満ちた声が聞かれ、温かい雰囲気になりました。

今後も、様々なイベントを通じて、ご利用者の方々がいきいきと過ごせるような機会を創出していきたいと思っております。



作業風景



ミニ門松 大集合



## ボランティアさん募集

## 「あなたの元気が私の元気」

～地域の皆様の力をお貸し下さい～

- ・老人保健施設サンバレーかかみ野
  - ・ケアハウスだんらん
  - ・フェニックス DANKE その他
- 詳しくはお問い合わせください。



卓球



喫茶スタッフ



【お問合せ】フェニックスグループ アクティビティ担当 田中 ☎058-370-7777 (サンバレーかかみ野)

## 笑顔と歓声で溢れた熱戦! 合同大運動会開催

11月20日、介護老人保健施設サンバレーかかみ野にて「デイケアセンターA」と「デイケアセンターきらら」のご利用者・スタッフ総勢60名以上が集まり、合同大運動会が盛大に開催されました。参加者たちは3種類の競技で熱戦を繰り広げ、会場は歓声と笑顔に包まれました。



競技では、チームメンバーが力を合わせて挑む姿が印象的で、特に「玉入れ」では白熱した勝負に観客も大いに盛り上がりました。結果は「デイケアセンターきららチーム」と「デイケアセンターA赤チーム」の同時優勝! 両チームとも日々のリハビリで培った力を存分に発揮し、素晴らしい成果を見せてくれました。



白熱した玉入れ

運動会を通じて、体を動かす喜びやチームでの交流が生まれ、参加者からは「楽しかった! 次回もぜひ参加したい!」との声が寄せられました。これからもご利用者の皆さんと一緒に元気で楽しい時間を作っていきたいと思います。



同時優勝! 表彰式

## GOZARE Project

## 地域の魅力が詰まった! まちの文化祭 大盛況

11月23日、フェニックス総合クリニックにて地域の文化と活動が一堂に会する「まちの文化祭」が開催されました。「地域の活動を応援し、発表や交流の場を提供したい」というコンセプトのもと、地域のクリエイターやアーティストが参加し、展示部門とステージ部門に分かれてそれぞれの才能を披露しました。



当日は200名以上の方々が来場し、活気に満ちたイベントとなりました。特別ステージにはプロ歌手のマーサさん(今尾昌子)が出演し、その素晴らしい歌声で会場を熱気に包み込みました。また、特別展示では、今年5月に開催された「“愉”写真×紙粘土 夫婦展」が1日限りのリバイバル展示として復活し、多くの来場者が足を止めて作品に見入っていました。



ハミングバード合唱隊



フラダンス



作品展示会



地域の魅力がたっぷり詰まった「まちの文化祭」は、大盛況のうちに幕を閉じました。これからも地域の活動を支え、さらなる発展を目指してイベントを計画していきます!



マーサさん演奏会

次回のGOZAREイベントもお楽しみに!

# フェニックスから羽ばたく星たち 夢とスポーツで輝く



## 第54回全日本中学生ホッケー選手権大会

第54回全日本中学生ホッケー選手権大会で見事**日本一**に輝き、表彰された中学生選手“兼山さん”。実は、託児所ショコラの卒業生**第一号**！日本一という栄光を手にしたことは、フェニックスが地域と職員を支え、次世代を育む仕組みを築いてきた成果の一つといえます。



## 国スポ・全障スポ 「SAGA2024」走り高跳び

2024年10月26日から28日にかけて開催された全国スポーツ大会「SAGA2024」において、走り高跳びの部で見事**銀メダル**を獲得したのは、グループホームひだまりに所属する山中朋晃さんです。山中さんは力強く美しいジャンプで観客を魅了し、その技術とパフォーマンスで会場を沸かせました。この快挙は、山中さんのたゆまぬ努力と情熱の賜物であるだけでなく、地域全体が育んだ才能の結晶でもあります。



力強く飛翔する山中さん



## 出場「第45回 全国レディース卓球大会」出場！

入職して15年目を迎える大峰さん。現在、サンバレーかかみ野の3階でセクションマネージャーとして充実した日々を送りながら、3歳から続けている卓球にも熱心に取り組んでいます。

そんな大峰さんは、先日11月23日から24日にかけて福井県で開催された「**全国レディース卓球大会**」に参加しました。この大会は、30歳以上の女性が出場する団体戦で、参加条件は「30歳以上」であることのみ。そのため、70代や80代の選手もプレーし、幅広い世代と一緒に競い合える大会となっています。

卓球は「**生涯スポーツ**」として知られ、リハビリにも活用されるなど、健康的な生活を支えるスポーツとして注目されています。大峰さんは「人生を長く楽しむために、卓球も仕事も全力で取り組んでいきたいです！」と語りました。



大峰さんの所属クラブ集合写真

# 私たちの過去・現在、 そして私の未来

(日本経済新聞 一部再編)

特定医療法人フェニックス 社会福祉法人フェニックス 会長 長縄 伸幸



## 地球全体に栄養供給する 海洋大循環と地球温暖化

海水に溶けた塩分の濃度や海水の温度の違いにより生じている海流は、1000年規模の時間をかけて地球上の様々な地域に熱や栄養分を運びながら、地球の海を循環している(千年海流)。欧州ではこの海流の影響で、比較的温暖な気候に保たれているが、現在の地球の温暖化がさらに進めば、5-15度寒冷化が進むといわれている。また、南アジアでは干ばつが、南米地域では多雨化が、北米東岸では海面の上昇による深刻な被害が心配されておりまた、日本の近海でも黒潮の「大蛇行」で気候や漁業環境にも影響が大きいと予想されている。



図1

(出典:日本経済新聞)

## 「飽食と飢餓」「人口増加と温暖化」

国連食糧農業機関によると、1人あたり1日の消費量は60年間で1.4倍(2985Kcal)に増加している。特に中国は2.4倍(3441kcal)と突出していて、その食事内容も、小麦や米は2-4倍であるが、牛肉や豚肉は50倍と飽食が際立っている。一方では、食品ロスも多く、食料の1/3が捨てられている。また、世界の人口は、最近12年間隔で10億人ずつ増え続けていて、やがて80億に達しようとしている。さらに、ここ数年、世界各地では干ばつや豪雨などの異常な気候変動で深刻な生産被害が多くなっている。

## 私たちの「腸内細菌(微生物)叢」も 変わってきた! ~善玉・悪玉は昔のこと~

腸内で宿主となる人と共生関係にある「腸内微生物」には、細菌・ウイルス・真菌などが発見されており、“人間は人の細胞と体内の細菌からなる「超生命体」である”(ジョシュア・レーダバーク:ノーベル賞受賞者)とも言われている。

また、免疫を高める善玉菌は、免疫抑制が必要な時は逆に悪玉になる。従って善玉・悪玉という概念は、常在菌には成立しないといわれ始めている。腸内細菌は多様性が必要であり、2000種以上が共生・競生し、腸内でバランスよく生存しているが、腸内の環境に最も影響を及ぼすのは投薬で、多剤ほど影響が強いようです。

## 不健康な飲酒 女性を蝕む

女性は、一般的に男性に比べアルコール分解速度が遅く、身体に負担がかかりやすい。生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量で20g/日(ビールでは中ジョッキ1杯、ワインでは小グラス2杯に相当)、男性は40gとされている。最近10年間では、このリスクを超える男性は減少し

ているが、女性は逆に増加している。特に50代の女性は顕著で、同じ飲酒量でも肝硬変や依存症になりやすく、**乳がんの発生リスクも高くなる**と警告されている。

### 夫婦別姓なければ、 500年後は、全員「佐藤」さん

結婚時にどちらかの姓を選ぶ現行制度を続けると、2531年には日本人の姓がすべて『佐藤』になる可能性がある試算されている(東北大:吉田浩教授)。現行制度が続けば、現在最も多い佐藤姓との婚姻が増え、やがて佐藤の姓に収束されていくとの試算です。

### 超少子高齢化社会は 高齢化から「消齡化」社会へ

日本人の平均年齢は、やがて50歳以上になり、価値観なども変わっていく。年代による価値観や消費志向の差も消え、日本社会は世代を超えた大きな塊(特に20~60歳の間では)になりつつある。今後は年齢層を超えた縦型のマーケットに軸足が置かれるようになります。ユニクロやマクドナルドは10歳から70歳まで普通に利用されている。特定の世代向けというモノサシがなくなり、消費ビジネスは一段と不透明さを増していくでしょう。

### 変わるライフコースと人生設計、 変容する2世代同居

日本の高齢社会の特徴は、高齢化が進む速さに加えて、高齢者の就業率が高く、子供との同居率も高い。そこで、子供と同居している無職の60歳代の男性の年収と同居している世帯年収に注目すると、3つのグループに分類される。本人の年収によって以下のように分けられる。

#### 1. 年収が120万円以下の男性

子供との同居によって経済的援助を受けている。

#### 2. 年収が200~300万円の男性

世帯年収はそれほど多くなく、400万円程度。

#### 3. 年収が900万円以上の男性

豊かな同居層である。

しかし、近年では若者層の経済的不安定さが同居の意味を大きく変容させている。年金収入に頼る親世代と低所得の子世代が、同居を通じて相互依存しながら助け合う姿が浮き彫りになりつつある。

### 高齢者の40%は 「70歳以降も働く!」、その心は

- ・老後に不安を感じている(77%)、その本音は:生活資金など経済面(70%)、健康(68%)、介護(50%)
- ・家計で負担が重いと感じているものは、食費(64%)、水道・光熱費(40%)、税・社会保障(35%)
- ・日本の経済力の評価は、弱い(47%)、強くも弱くもない(29%)、強い(17%)

### 社会交流少ないと脳は萎縮する ~高齢者9000人の調査結果から~

九州大学などは、全国8地域で認知症と診断されていない65歳以上9000人の高齢者に対して、MRIによる画像診断と社会との交流頻度を調査したところ、社会と交流頻度が少なくなるほど、脳の容積が減少(脳の萎縮)しており、側頭葉や後頭葉などの認知機能に関連する部位も同様の傾向がみられると米国医学雑誌に報告しています。

### 医療は「2040年」を乗り切れるか! ~その鍵は、地域医療・在宅・介護~

子供や働き盛りの現役世代(病気になりたくない、なってもすぐに元の生活にもどる)が減り、高齢者(治りきらず、元の生活が送れない)が多くなると、急性期病院のニーズは減り、身近な生活の現場(地域)で支える仕組み(在宅医療・介護支援)が求められてきます。この支え方は地域により大きく異なっており、すべての地域住民が「わがごと」として知恵を絞るしかありません(地域包括ケアシステムの構築)。

## 世界と日本の社会保障

～今後求められる“福祉と負担の最適バランス”～

多くの先進国は、高齢化率も比較的穏やかで福祉と負担のバランスが取れている。(図のブルーの帯状部分)。しかし、日本は、他国にない早いペースで進む高齢化のため、負担が足りず、バランスが取れていない「中福祉・低負担(図2中A)」と言われて

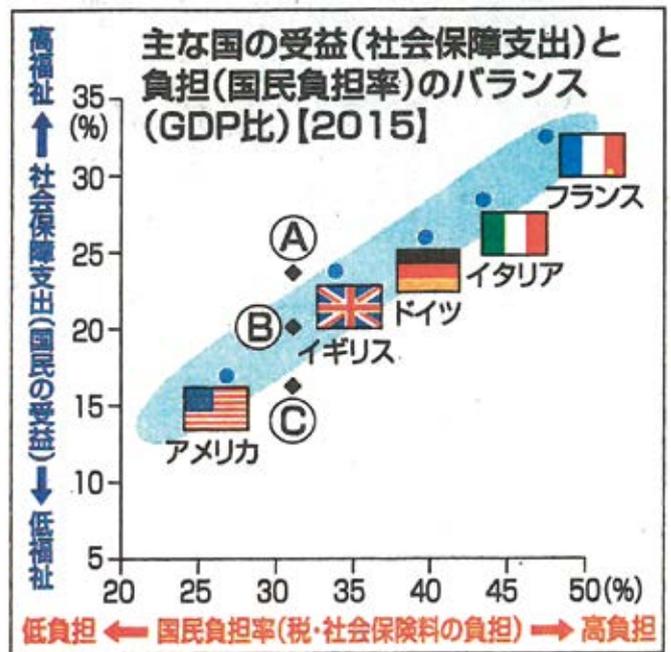


図2

(出典:OECD“NationalAccounts”、“Revenue Statistics”、内閣府「国民経済計算」等)

## 2040年少子高齢社会のピークを迎えるにあたり～医療介護連携を模索する～

～今後求められる“福祉と負担の最適バランス”～

あいさつする大会会長の長繩伸幸支部長・岐阜市長良福光、長良川国際会議場

# 老健施設の役割考える

## 岐阜市 関係者集い全国大会

全国の老人保健施設の関係者が集う「第35回全国介護老人保健施設大会岐阜」が14日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場をメイン会場に始まった。全国から約3200人が参加し、講演やシンポジウムを通じて施設の役割や業界の課題について理解を深めた。

全国老人保健施設協会主催。開会式では、大会会長を務める長繩伸幸同協会支部長が「医療と介護の密接な連携強化を狙いに、診療・介護報酬が同時改定さ

れた。私たちは医療・介護のハイブリッドとして今後、地域のリーダー的集団になるべき」とあいさつした。表彰式では、厚生労働大臣表彰を受けた西美濃さくら苑(揖斐郡池田町)の高井輝雄さんが代表で謝辞を述べた。

会場近くの岐阜メモリアルセンターでは、業務改善や地域との連携などをテーマにした各種演題発表もあった。

15日は「清流の国ぎふ」文化祭2024の応援事業として、共催プログラムセミナー「地域における介護・医療の現状・連携」を午前9時から同センターで開く。当日参加も可能。

(佐名妙予)

2024年11月14日・15日に開催された全国介護老人保健施設大会 岐阜  
(出典:岐阜新聞11月15日掲載「老健施設の役割考える 関係者集い岐阜市で全国大会」)

全国介護老人保健施設大会 岐阜については、次号掲載予定

# PHOENIX

この街の元気をつくりたい。トータルケアでしあわせを応援します。

## ■クリニック

フェニックス総合クリニック(19床) TEL (058) 322-2000  
 フェニックス在宅支援クリニック(19床) TEL (058) 322-2100

## ■介護老人保健施設

老人保健施設サンバレーかかみ野 TEL (058) 370-7777  
 介護老人保健施設リハトピア・フェニックス TEL (058) 322-2220  
 介護老人保健施設ハートピア・フェニックス TEL (058) 322-2221

## ■地域密着型 特別養護老人ホーム

メゾンペイネ ……TEL (058) 370-5225  
 DANKE(暖家) ……TEL (058) 370-0070

## ■ケアハウス

だんらん ……TEL (058) 379-3377

## ■グループホーム

私の部屋 ……TEL (058) 370-1200  
 ひだまり ……TEL (058) 370-8885  
 サニーテラス ……TEL (058) 370-9915

## ■デイケア(通所リハビリ)

デイケアセンターA&S ……TEL (058) 322-2222  
 デイケアセンターきらら ……TEL (058) 370-8875

## ■デイサービス(通所介護)

Com.Do(介護予防デイサービス) ……TEL (058) 379-2022  
 Com.Do2(介護予防デイサービス) ……TEL (058) 370-2800  
 Com.Do 33(デイサービス) ……TEL (058) 379-3773  
 Com.Do那加(リハビリデイサービス) ……TEL (058) 322-5757  
 Com.Do パークサイドテラス ……TEL (058) 372-3535  
 (介護予防デイサービス)  
 Com.Do DANKE ……TEL (058) 385-1155  
 (介護予防デイサービス)  
 すずらん(認知症対応型デイサービス) ……TEL (058) 385-3033

## ■小規模多機能型サービス

らぼら・ぼら ……TEL (058) 370-2800

## ■障がいサービス

VIVAローゼ ……TEL (058) 370-9700  
 (就労移行支援事業・就労継続支援B型事業所)  
 共同生活援助グループホーム ソーレ・ステラ ……TEL (058) 203-9108

## ■相談サービス

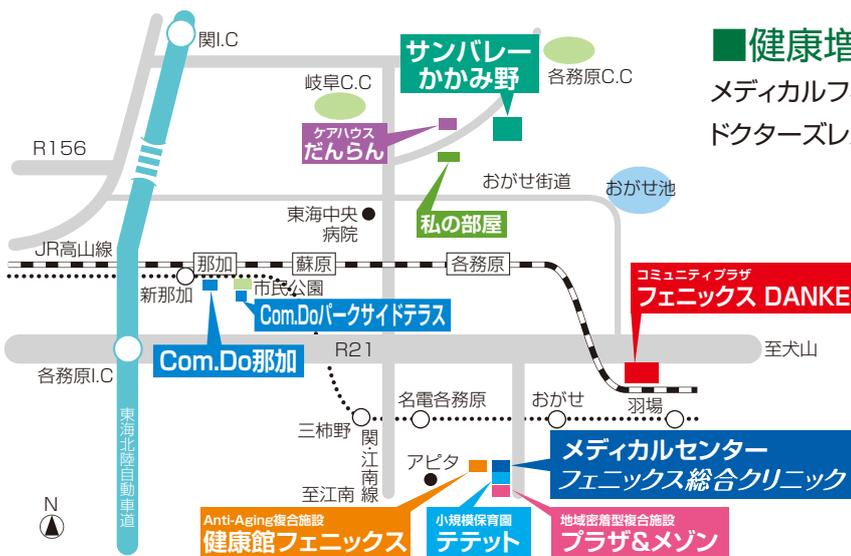
フェニックス地域連携室 ……TEL (058) 372-2530  
 (フェニックス総合クリニック内)  
 フェニックス在宅相談センター ……TEL (058) 385-2244  
 地域包括支援センターフェニックスかかみ野 TEL (058) 384-8844

## ■保育サービス

小規模保育園テテット ……TEL (058) 372-2780  
 事業所内託児所 それいゆ ……TEL (058) 379-3588

## ■健康増進

メディカルフィットネスQ10 ……TEL (058) 379-3388  
 ドクターズレストランカフェGA楽 ……TEL (058) 379-1818



### 交通のご案内

#### フェニックス総合クリニック

名鉄各務原線 おがせ駅 又は名電各務原駅より徒歩10分  
 JR高山線 各務原駅よりタクシーで5分  
 ふれあいバス「フェニックス総合クリニック前」下車

#### サンバレーかかみ野

東海北陸自動車道 関インターより車で10分  
 名鉄各務原線 三柿野駅よりバスで15分  
 JR高山線 蘇原駅よりタクシーで7分



特定医療法人 **フェニックス**  
 岐阜県各務原市鵜沼各務原町6丁目50番

社会福祉法人 **フェニックス**  
 岐阜県各務原市須衛町1丁目132番

フェニックスグループ 検索

<http://phoenix-g.jp>

